



エネファーム 家庭用燃料電池コージェネレーションシステム

A編： 燃料電池発電ユニット（家庭用）

品名 NQ-0109ARS-K

型式名 TM1-Z-N 都市ガス(13A)用

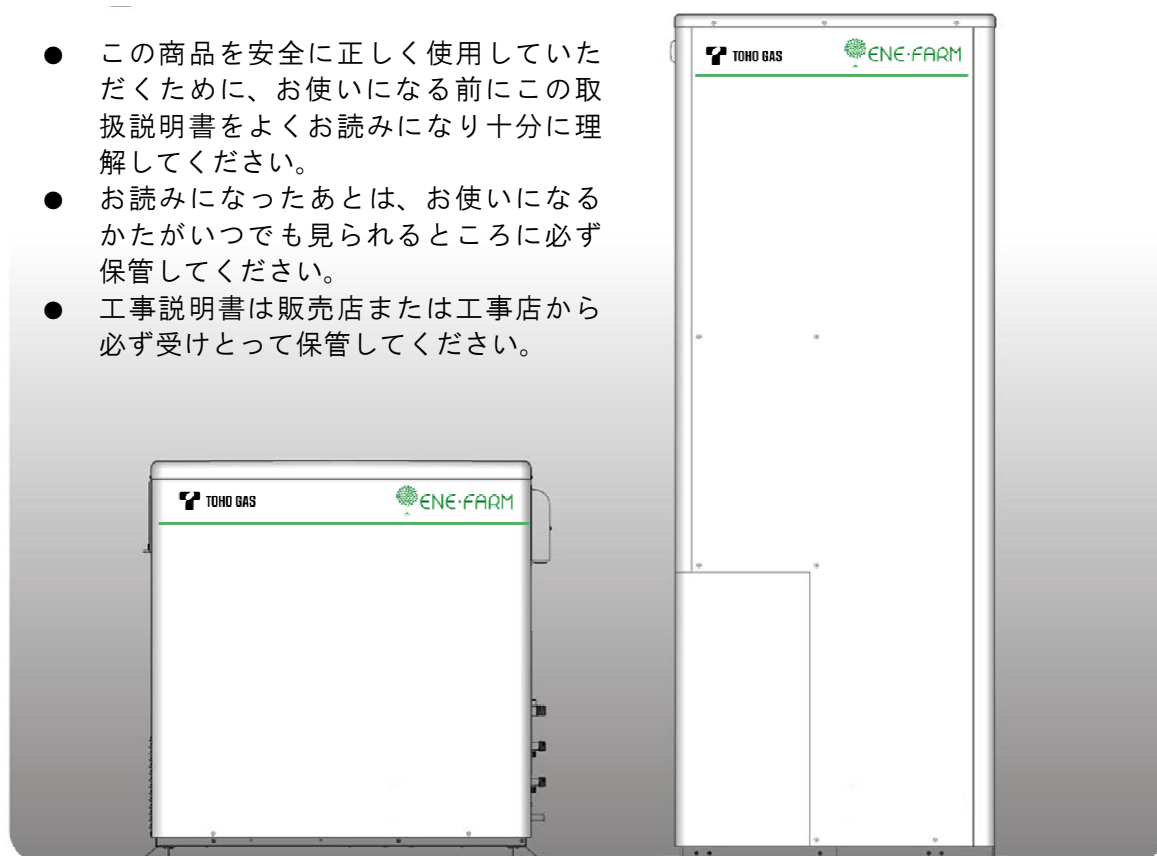
B編： 貯湯ユニット（家庭用）

品名 NQT-C09ARSAWQ

FCG-201-DR 型（型式名 FCG-201B） 都市ガス用

このたびは、固体高分子形燃料電池コージェネレーションシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

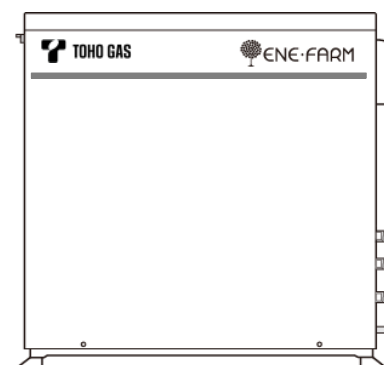
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 工事説明書は販売店または工事店から必ず受けとって保管してください。



固体高分子形燃料電池コージェネレーションシステム
燃料電池発電ユニット（家庭用）

取扱説明書

工事説明書別添



もくじ

●エネファーム（家庭用燃料電池システム）とは

.....2

◆安全に正しくご使用いただくために

- 安全上のご注意3
- 各部の名前とはたらき12
- ご使用前の確認と準備13
 - ／設置状態の確認
 - ／電気・ガス・水の確認
 - ／運転・停止について

◆長く使っていただくために

- 長期間ご使用しないとき15
- 日常の使い方15
- 定期的な点検16
- 転居されるとき.....17
 - ／電気を切るとき
 - ／ご使用を中止されるとき
 - ／ご使用を再開されるとき
- 移設、撤去廃棄されるとき.....17
 - ／移設されるとき
 - ／撤去廃棄されるとき

◆故障・異常の見分けかたと処置

- サービスを依頼される前に18
- 故障表示19
- 異常時の処置20
- 停電のときは21
- 緊急時など専用ブレーカや基幹ブレーカを切った場合.....21
- 仕様22
- ご不明な点や修理に関するご相談は24
- サービスを依頼されるときは24



ご
使
用
の
前
に

お
手
入
れ

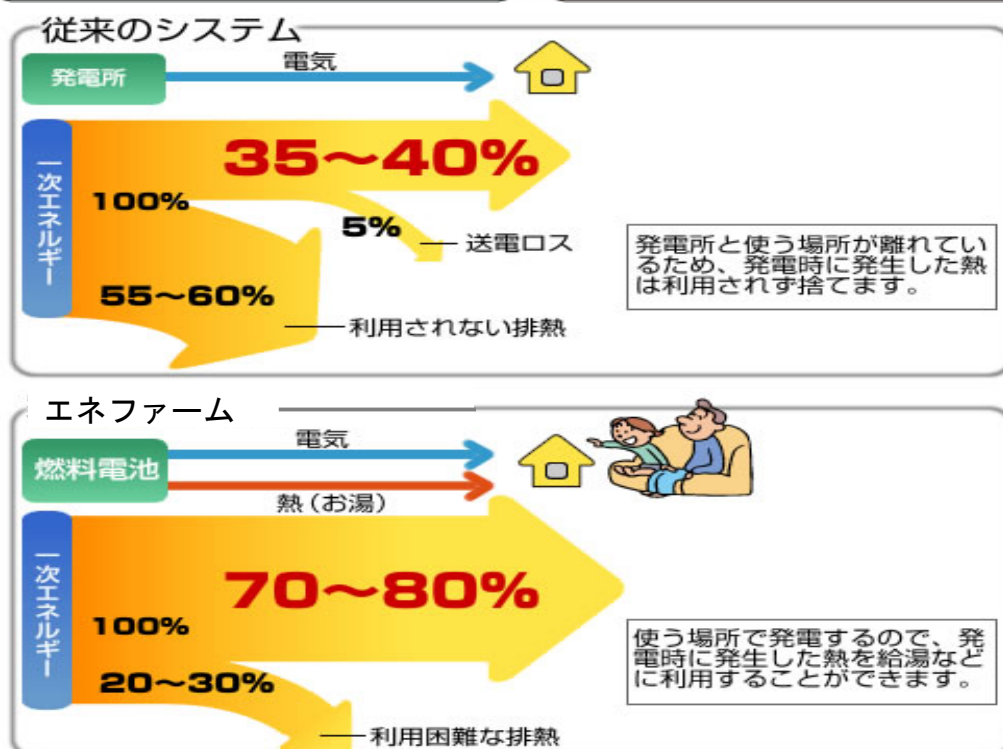
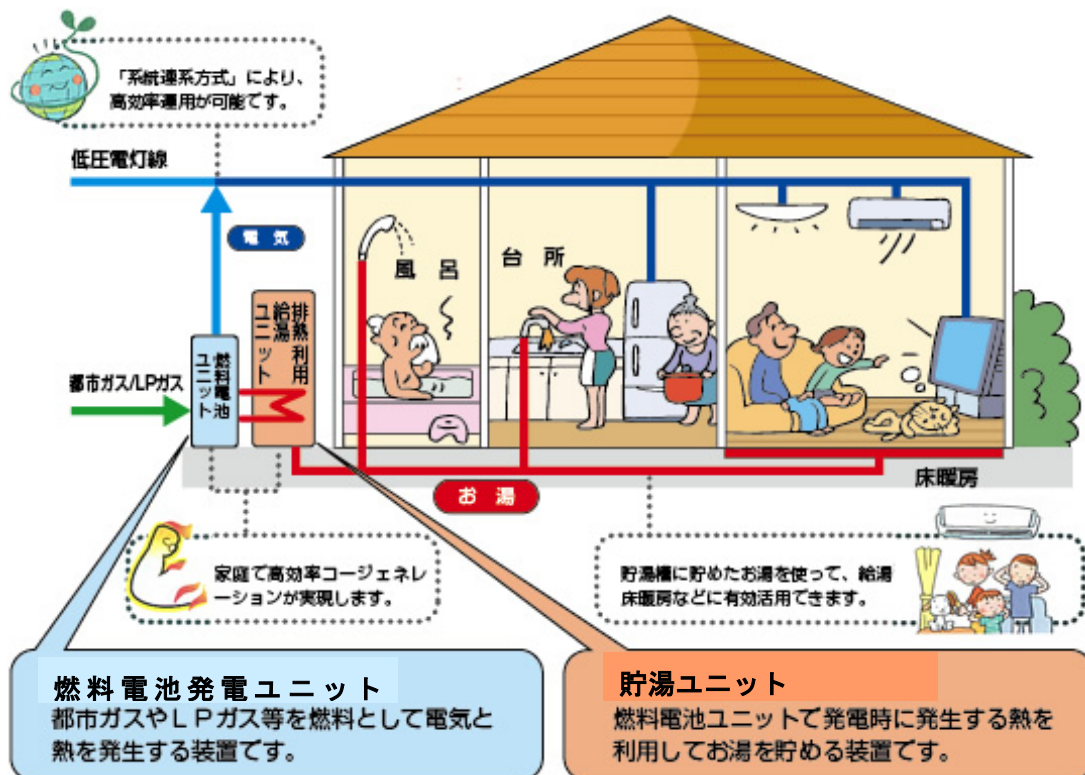
お
困
り
の
と
き

このたびは、固体高分子形燃料電池コージェネレーションシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この商品を安全に正しくご使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。なお、工事説明書は販売店または工事店から必ず受けとって保管してください。

●エネファーム（家庭用燃料電池システム）とは

都市ガスなどのエネルギーから水素を取り出し、大気中の酸素と化学反応させ、水の電気分解の逆の原理で電気と熱と水を同時に供給するコージェネレーションシステム（熱電供給システム）です。電気を使う場所で発電するので送電で発生する無駄がありません。また、従来の発電方式では捨てていた、発電の際に発生する熱もお湯として利用できるのも、エネルギーを効率よく使えます。また、同じ量の電気と熱を使う場合、これまでよりCO₂の排出が少なくなります。また、エネファームはご家庭での過去のエネルギー使用実績から学習制御を行い、お客様のご家庭に合わせた効率の良い発電（使用量が少ない時は停止）を行います。



◆安全に正しくご使用していただくために

●安全上のご注意（必ずお読みください）

お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を未然に防止するための重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表示	表示の意味
 危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）などを負うことがあり、かつその切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）などを負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

- ※1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
- ※2 障害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
- ※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の説明】

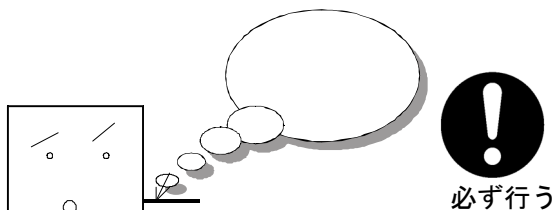
図 表示	表示の意味
 禁止	この表示は禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指示	この表示は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注意	この表示は注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。



危険

◆ガス漏れに気づいたら

- ・ ガス漏れに気づいたら、メンテナンス店の処置が終わるまで給湯利用を中止してください。
- ・ 屋内でガス臭がする場合は、電気器具（換気扇・電灯など）のスイッチを使用しないでください。
引火し、爆発事故を起こすことがあります。

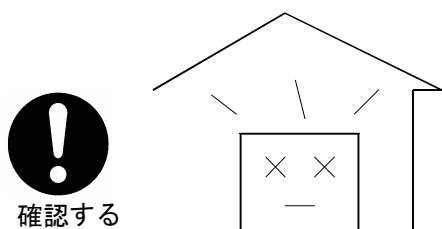


必ず行う

- ① 給湯利用を中止する
- ② 屋内でガス臭がするときは、窓をあける
- ③ 担当のメンテナンス会社またはガス事業者に連絡する

◆屋内に設置しない

- ・ 屋外に設置してください。
- ・ 開放状態で屋内使用した場合、酸欠や一酸化炭素中毒など、人体に危険を及ぼす恐れがありますので絶対に行わないでください。



確認する



警告

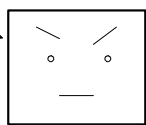
◆必ず銘板に表示してあるガス種を使用する

- ・ 銘板の記載が、ご利用いただけるガス種と一致していることをご確認ください。
- ・ 銘板には、ご利用いただける周波数が記載されていますので、あわせてご確認ください。
- ・ 一致していない場合、正しい運転が行えません。また、故障の原因になります。



確認する

銘板



燃料電池発電ユニット	
種類	固体高分子形、常圧式
型式	TM1-Z-N
原燃料の種類	都市ガス 13A
原燃料供給圧力	0.98~3.43kPa
原燃料消費量	2.0kW-LHV
定格出力	0.7kW
定格電圧	AC100/200V
周波数	50/60Hz
相数	単相三線
設置条件	屋外式、-5~43℃
質量	104kg
製造番号	TM1-Z****
製造年月	2009年4月
製造者名	東芝燃料電池システム株式会社

原燃料の種類 ご利用いただけるガス種が記載されています

周波数 ご利用いただける電源周波数が記載されています



警告

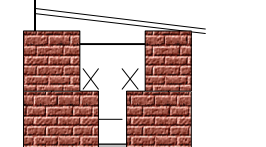
◆全体を覆わない

- ・ 周囲を板などで覆わないでください。

換気不良による異常な温度上昇により、火災の恐れがあります。



確認する



◆吸排気口を塞がない

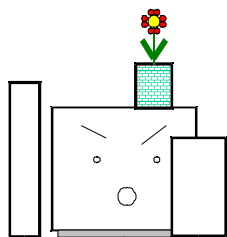
- ・ 吸排気口を塞がないでください。

正常な運転が継続できず、不完全燃焼や火災の原因になります。

- ・ 積雪時には、吸排気口が塞がれていないことをご確認してください。



確認する



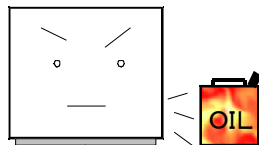
◆燃えやすい物を近づけない

- ・ 燃えやすい物や、スプレー缶など引火する恐れがある物を近くに置かないでください。

爆発・火災の恐れがあります。



確認する



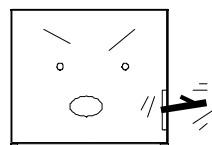
◆開口部に物を入れない

- ・ 排気口など開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落したりしないでください。

感電、火災の原因になります。



確認する





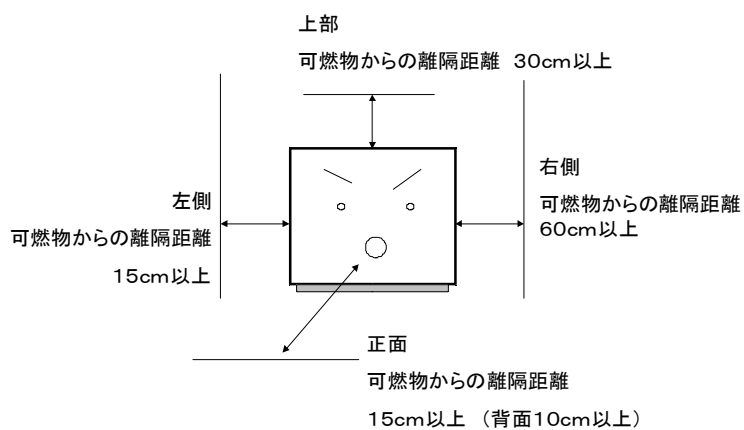
警告

◆可燃物との離隔距離を確保する

- ・ 火災予防のため、可燃物との離隔距離を確保してください。
- ・ 設置した後、可燃物を近くに置かないでください。



確認する



ご使用の前に

ご使用の前に



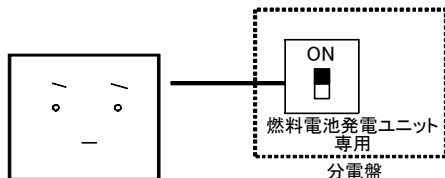
警告

◆燃料電池発電ユニット専用のブレーカを設けてください

- ・ 燃料電池発電ユニットの専用ブレーカが必要です。
- ・ 分電盤に専用ブレーカを設け、「発電設備専用」と表示してあることをご確認ください。



確認する



◆電気工事には専門の資格・技術が必要です

- ・ 燃料電池発電ユニットの設置や移動に伴う電気工事には専門の資格・技術が必要です。
- ・ 必ずお客様担当のメンテナンス会社にご連絡してください。
- ・ 増改築や引越しなどで移設する場合は販売店またはメンテナンス店にご連絡してください。
(移設は工事説明書に従い、有資格者が行います。)

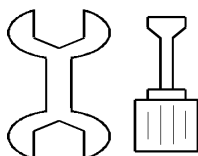
電力会社へ下記手続きが完了した後でないと運転することはできません。

- 増改築による移設(電気の使用場所に変更の無い場合) … 変更手続き
- 引越しによる移設(電気の使用場所に変更の有る場合)
… 連系廃止手続き(引越し前)／連系申請手続き(引越し後)
- 引越しなどによる廃止 … 連系廃止手続き

また、お客様が設置工事をされ不備があると、排気ガスの建物内流入による中毒や感電、火災などの原因になるおそれがあります。



確認する

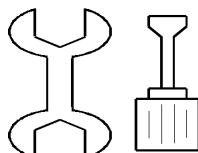


◆ガス接続には専門の資格・技術が必要です

- ・ 燃料電池発電ユニットの設置や移動に伴うガス配管の工事には専門の資格・技術が必要です。
- 必ずお客様担当のメンテナンス会社にご連絡してください。



確認する



◆アース施工を確認する

- ・ アースが正しく施工されていることをご確認してください。
不完全な場合、感電の原因になります。



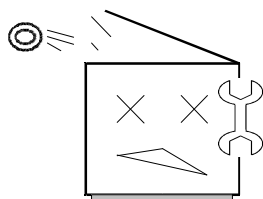
確認する

◆分解・改造しない

- ・ 分解・改造しないで下さい。
感電、火災の原因となります。
- ・ 分解・改造を行った場合は、保証の対象外になります。



分解禁止





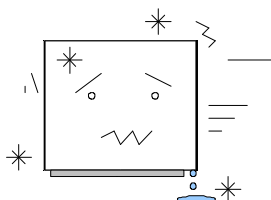
注意

◆運転していない時でもブレーカを切らない

- ・ 運転していない時でも、緊急の場合以外はブレーカを切らないでください。
- ・ 冬季寒冷気候下では、凍結防止機能が停止するため凍結損傷が発生する恐れがあります。



確認する

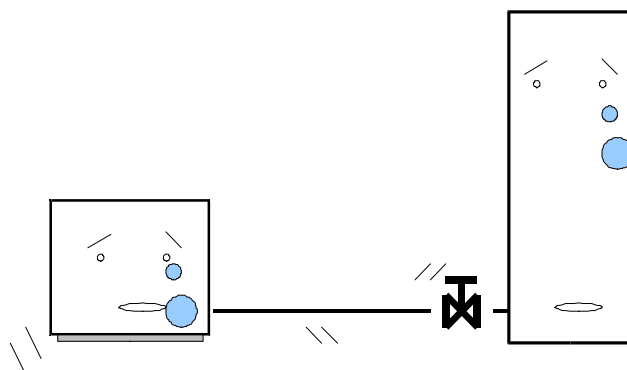


◆配管バルブは閉じない

- ・ メンテナンス作業を除き、配管バルブは閉じないでください。
正常な動作が妨げられ、故障の原因になります。



確認する

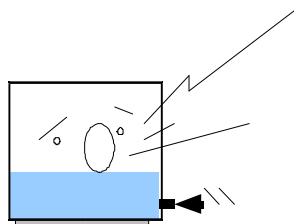


◆ドレン配管を詰まらせない

- ・ ドレン配管の排出先は大気開放とし、泥や落ち葉などの堆積により詰まらせないでください。
正常な動作が妨げられ、故障の原因になります。



確認する





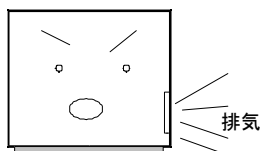
注意

◆排気に触れない

- ・ 排気口からの排気に手を触れたり、顔を近づけたりしないでください。万一の場合、中毒ややけどの恐れがあります。



確認する

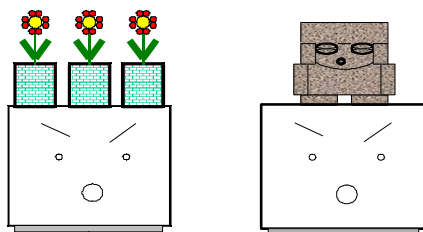


◆上に乗らない 物を置かない

- ・ 燃料電池発電ユニットや配管・配線の上に物を置いたり、登ったりしないでください。落下・転倒により、けがの恐れがあります。また、故障の原因になります。



確認する



◆貯湯ユニットは指定機種を使用する

- ・ 貯湯ユニットは、必ず指定機種 (FCG201B) と組み合わせてご使用してください。
- ・ リモコン (台所・浴室) は、必ず指定機種に適合した品をご使用してください。



確認する

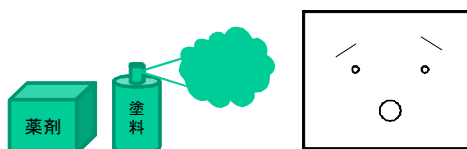


◆近くで薬剤散布や塗装作業を行わない

- ・ 吸気口の近くで薬剤の散布や塗装作業を行わないでください。故障の原因になります。

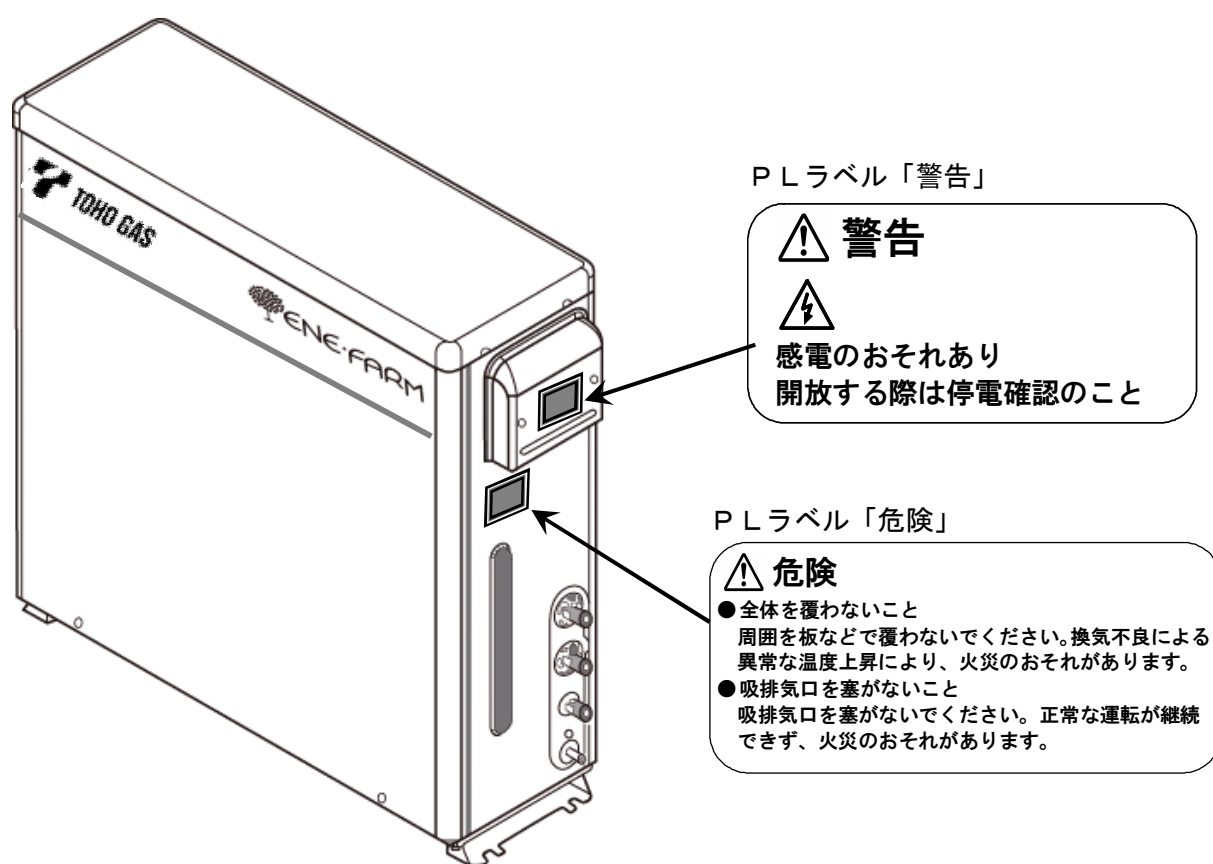


確認する



◆安全ラベルの貼付け位置と記載内容

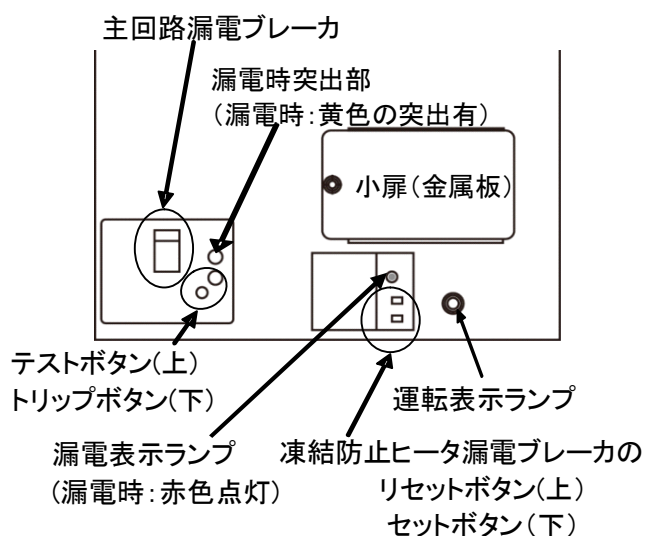
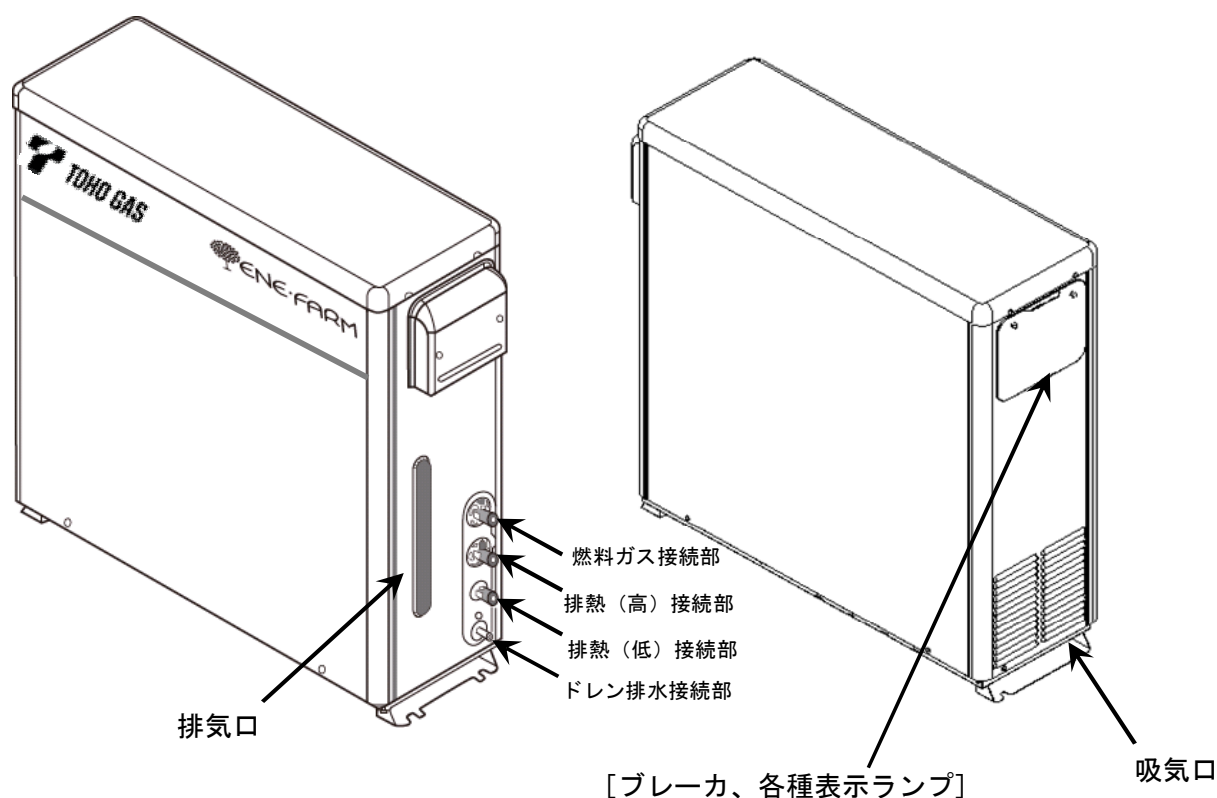
- ・ 燃料電池発電システムを安全にご使用いただくために、この機器には安全ラベルが貼ってあります。安全ラベルを全て読んでからご使用してください。
- ・ ラベルは、はっきり見えるように、きれいにしておいてください。
- ・ この機器に貼ってあるラベルが汚れ、破れ、紛失などでよめなくなってしまったときは、担当のメンテナンス店にご連絡して新しいラベルに貼り替えてください。



● 各部の名前とはたらき

燃料電池発電ユニット

- ・ 吸気口は左側面にあります。内部の換気と発電に必要な空気はここから取り入れます。
- ・ 排気口は右側面にあります。排気は右方向に排出します。
- ・ 本体ブレーカ（電源：主回路漏電ブレーカ）は左側面の半透明カバーの中にあります。
- ・ 発電している時は、半透明カバーの中の運転表示ランプが緑色に点灯します。
- ・ 起動中または停止中の時は、運転表示ランプが点滅します。



お願い

緊急の場合を除き、お客様ご自身で半透明カバーを開いて中のスイッチ類に触れないでください。

● ご使用前の確認と準備

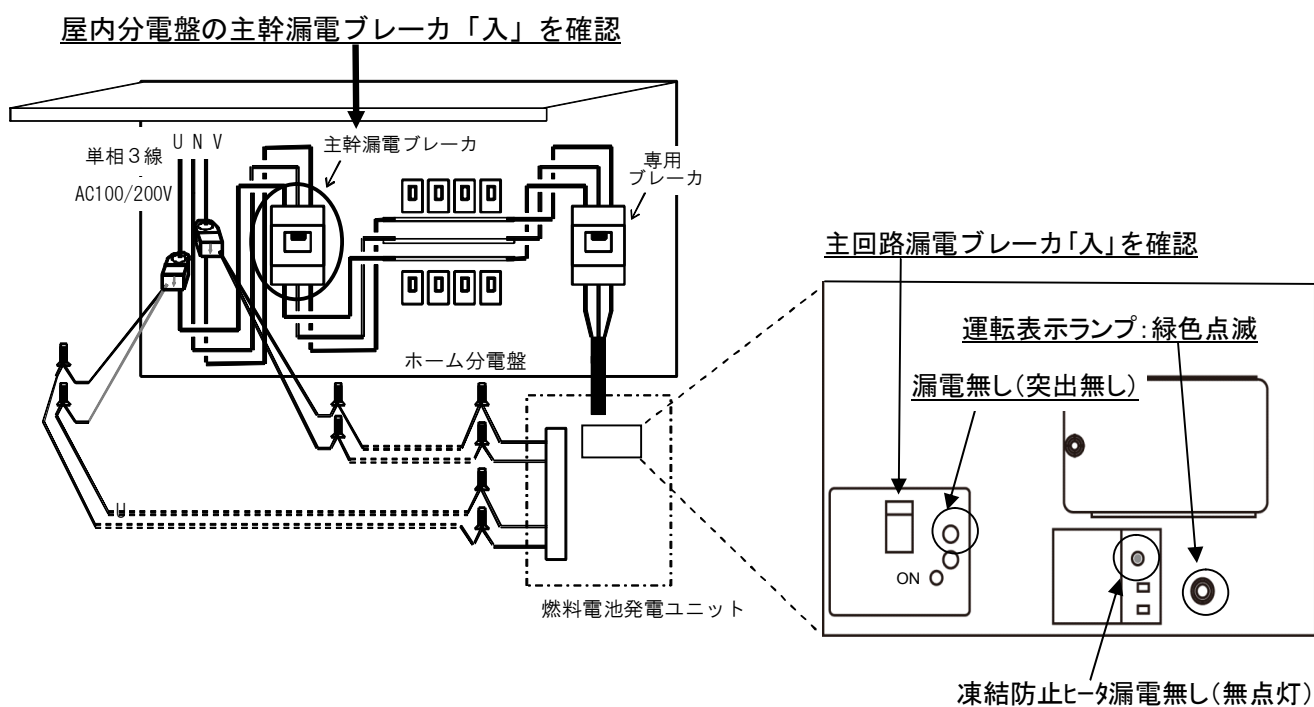
設置状態の確認

- ・ 燃料電池発電ユニットが板等で囲まれておらず、排気が滞留する恐れがないことをご確認してください。
- ・ 燃料電池発電ユニットが水平に設置されていることをご確認してください。貯湯ユニットを含め、設置後に傾斜していないことをご確認してください。
- ・ 建屋の開口部（窓、ルーバー、扉など）から離して設置されていることをご確認してください。
- ・ 吸気口や排気口のまわりに飛来物の付着や、排気の妨げとなる障害物がないことをご確認してください。
- ・ 引火の危険があるもの（新聞紙、灯油缶等）が付近に置かれていないかをご確認してください。

電気・ガス・水の確認

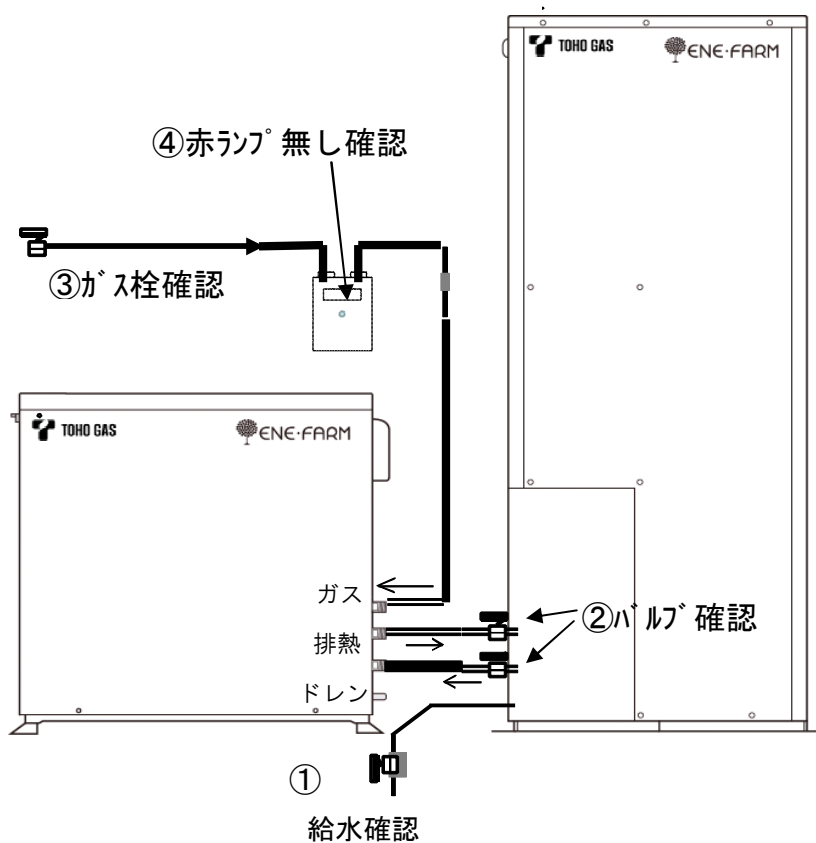
（１）電気の確認

- ・ 屋内分電盤の主幹漏電ブレーカが「入」であることをご確認し、燃料電池発電ユニット本体のブレーカ（電源：主回路漏電ブレーカ）と凍結防止ヒータの漏電遮断器が「入」であり、漏電表示が出ていないことをご確認してください。
- ・ 燃料電池発電ユニットの運転表示ランプが緑色点滅していることをご確認してください。
- ・ 貯湯ユニットの電源コンセントが抜けていないことをご確認してください。



(2) ガス・水の確認

- ・ 貯湯ユニットの給水バルブが開いていることをご確認ください。・・・①
- ・ 排熱配管のバルブが開いていることをご確認ください。・・・②
- ・ ガス栓が開いていることをご確認ください。・・・③
- ・ ガスのマイコンメータのランプが点灯していないことをご確認ください。・・・④
- ・ 燃料電池発電ユニットおよび周囲の配管から水漏れなどの異常がないことをご確認ください。



運転・停止について

- ・ 燃料電池発電ユニットは貯湯ユニットのリモコンにより操作します。
- ・ 燃料電池発電ユニットは常時動作しています。発電と貯湯の動作は経済メリットが生かせるように運転は自動で行われますが、発電の任意停止や発電再開の操作や運転モードの選択について、台所リモコンにより操作することもできます。
- ・ リモコン操作の詳細は、貯湯ユニット取扱説明書の関連ページをご参照してください。

◆長く使っていただくために

● 長期間ご使用しないとき

- ・ 旅行等のため長期間ご使用しないときは、リモコンの「不在停止」を3秒間押し、燃料電池発電ユニットを停止させてください。不在停止の詳細は貯湯ユニットの取扱説明書をご参照してください。
- ・ 燃料電池発電ユニットの本体ブレーカ（電源：主回路漏電ブレーカ）を切らないでください。ブレーカの位置は「各部の名前とはたらき」の「燃料電池発電ユニット」の項をご参照してください。
- ・ 発電設備専用と表示されたブレーカや、上位の基幹ブレーカを切らないでください。ブレーカの位置などは「ご使用前の確認と準備」の「電気・ガス・水の確認」の項をご参照してください。

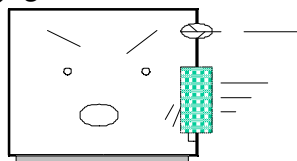
● 日常の使い方

- ・ 学習制御機能※で自動的に最適な発電運転を行いますので、不在停止以外の操作はしないで下さい。またひんぱんな起動・停止操作は機器の寿命を低下させる原因になりますので、行わないでください。
- ・ 吸気口や排気口にビニール・落ち葉などの飛来物が付着していないことをご確認してください。
- ・ 燃料電池発電ユニットや接続されている配管などから水漏れがないことをご確認してください。

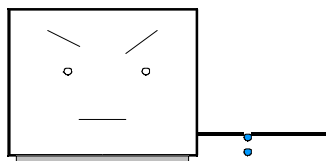
※学習制御機能とは、お客様のエネルギー使用実績からエネルギー需要を予測し、お客様のご家庭に合わせた効率の良い運転を行う機能です。このためエネルギーの需要予測によっては、運転を停止する場合があります。



点検する



点検する



● 定期的な点検

- ・ 燃料電池発電ユニットの性能を維持し、安全にご使用いただくためには定期点検が必要です。
- ・ 機能維持のため、2年毎に定期点検を行います。
- ・ リモコンに「発電ユニット点検」が表示されたときは、担当のメンテナンス店にご連絡してください。「近」が点減した場合（設置または前回点検から運転時間が17200時間経過後）は、もうすぐ点検時期であることのお知らせです。また、「要」が点減した場合（設置または前回点検から運転時間が17600時間経過後）は、点検時期になったお知らせです。（リモコン表示の詳細は貯湯ユニットの取り扱い説明書をご参照してください。）
- ・ リモコンに「発電ユニット点検」が表示され、「過」・「05F」が点減した場合（設置または前回点検から運転時間が18000時間経過後）は、**点検時期を超過したことのお知らせです**。燃料電池発電ユニットは運転を停止します。（リモコン表示の詳細は貯湯ユニットの取扱説明書をご参照してください。）

- ・ 定期点検項目

	項目	周期
1	パッケージ換気フィルタの交換	2年
2	空気フィルタエレメントの交換	2年
3	イオン交換樹脂ボトルの交換	2年

- ・ 定期点検は専門知識のあるサービスマンにおまかせください。



注意

- お客様自身で部品の点検・調整はしないでください。
- 異常を見つけたときは、お客様担当のメンテナンス店にご連絡してください。

● 転居されるとき

電源を切るとき

・引越しなどで燃料電池発電ユニットの電源を切る場合は、お客様担当のメンテナンス店にご連絡してください。

ご使用を中止されるとき

・引越しなどで燃料電池発電ユニットのご使用を中止する場合は、お客様担当のメンテナンス店にご連絡してください。

ご使用を再開されるとき

・転居後に燃料電池発電ユニットのご使用を再開する場合は、お客様担当のメンテナンス店にご連絡してください。

● 移設、撤去廃棄されるとき

移設されるとき

・増改築や引越しなどで移設する場合は販売店または、お客様担当のメンテナンス店にご連絡してください。（移設は工事説明書に従い、有資格者が行います。）

撤去廃棄されるとき

・撤去廃棄される場合は、販売店または、お客様担当のメンテナンス店にご連絡してください。むやみに取り扱われますと重大な事故に繋がる恐れがあります。

◆故障・異常の見分けかたと処置

● サービスをご依頼される前に

サービスをご依頼される前に次のことをご確認してください。このような現象は故障ではありません。

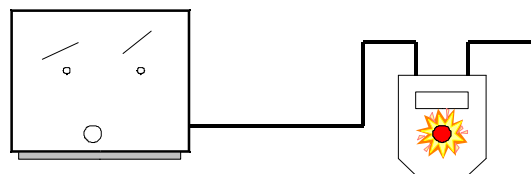
現 象	説 明
排気口から白煙が見える	排気に含まれる水分が凝縮するためです。気温が低い場合に発生する場合があります。
排気口から水が滴る	排気に含まれる水分が凝縮し結露するためです。気温が低い場合に発生する場合があります。
連続的な唸り音がする	機器内部の制御部品の運転音です。
連続的な機械音がする	機器内部の制御部品の運転音です。
停止させたのに機械音が止まらない	停止・冷却の過程でも制御部品が動作しています。また、換気のためファンも動作を継続しています。
発電していないのに機械音が聞こえるときがある	排熱系の温度管理のために、制御部品が動作する音です。
27日に1度、停止する	マイコンメータの誤検知防止のため停止させています。
ドレンから水が排出される	運転状況により、微量の余剰水がドレンとして排出されます。
給湯スイッチ「切」を選択しているのに、燃料電池発電ユニットから音がする	「不在停止」を選択していない場合、発電・貯湯のため運転を継続しています。
操作していないのにリモコンの不在停止ランプが点灯している	排熱利用給湯暖房ユニットを約 48 時間ご使用しなかった場合は、自動的に不在停止状態となります。
発電していないのに、燃料電池発電ユニットの運転ランプが点滅している	発電していなくても停止中の場合には間欠的に運転ランプが点滅します。
発電していない	過去のエネルギー使用実績から学習制御をおこない、効率良く発電、停止を自動で行っています。御家庭でのエネルギーの使用状況によっては 3 日間ほど停止する可能性もあります。

◆ このようなことはありませんか？

現 象
燃料電池発電ユニットが突然停止し、ガスコンロや給湯、風呂、暖房が使用できない

《マイコンメータの保護装置は作動していませんか？》

マイコンメータのランプが点滅しているときは、保護装置が作動してガスが遮断されており、燃料電池発電ユニットの故障ではありません。詳しくはマイコンメータの取扱説明書をご参照してください。サービスを受けられる際には、お客様担当のメンテナンス店にガスメータ動作の事実を必ずご連絡してください。



《リモコンに何も表示されない》

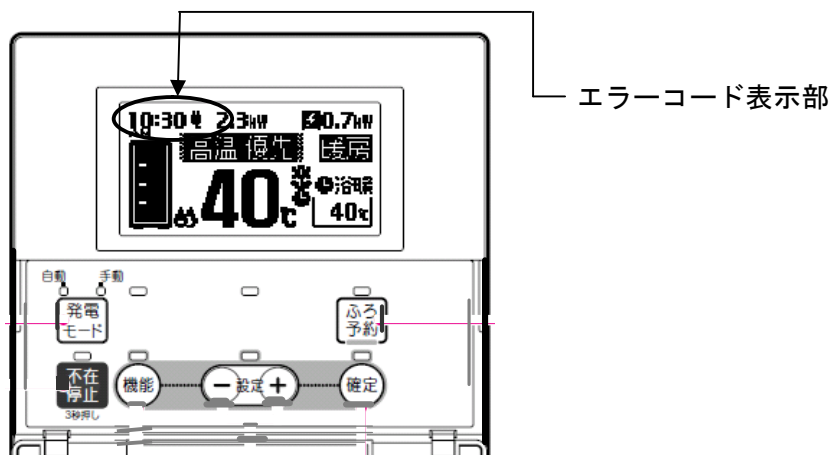
貯湯ユニットの電源プラグが正しく入っていることをご確認ください。

● 故障表示

a) エラーコードが表示され、発電の表示が消えた：

燃料電池発電ユニットの故障は、リモコンの表示部の末尾に“F”が付いたエラーコードによって表示されます。このエラーコードが表示されましたら、担当のメンテナンス店にご連絡してください。

その他のエラーコードは、貯湯ユニット取扱説明書をご参照してください。



エラーコード

**F ... 燃料電池故障 (**には数字が表示されます)

エラーコード	故障名称
5F	メンテナンス時間経過
9F	製品寿命到達
10F	可燃性ガス検知
11F	改質器バーナ点火失敗
12F	改質器バーナ失火
15F	起動異常(起動ステート渋滞)
(18F)※	メンテナンス時間経過(警報)
(19F)※	製品寿命到達(警報)
20F	換気フロースイッチ低
24F	電池冷却水圧カススイッチOFF
30F	改質器温度異常
33F	脱硫器温度異常
34F	CO変成器3温度異常
35F	CO変成器1温度異常
36F	CO変成器2温度異常
37F	CO除去器温度異常
38F	蒸気発生器温度異常
39F	燃料予熱器温度異常
42F	電池冷却水出口温度異常
43F	アノード入口温度異常
44F	パッケージ温度異常
45F	排熱回収水(余剰ヒータ出口)温度異常
47F	燃料予熱器温度低
48F	水処理装置温度異常
50F	原燃料流量センサ異常
51F	CO除去空気流量センサ異常
52F	改質器バーナ空気流量センサ異常
53F	カソード空気流量センサ異常
55F	可燃性ガスセンサ異常
56F	燃料ガス圧力センサ異常
58F	電池冷却水圧力センサ異常
59F	ヒータ加熱系センサ異常
60F	原燃料ガスフロア異常
61F	改質器バーナ空気フロア異常
65F	起動異常→電池冷却水圧力センサ異常
68F	原燃料入口電磁弁異常
69F	ヒータ系過熱異常

エラーコード	故障名称
76F	排熱利用給湯暖房ユニット通信異常
77F	制御装置異常
80F	脱硫器温度センサ異常
81F	燃料予熱器温度センサ異常
82F	改質器温度センサ異常
83F	改質器触媒温度センサ異常
84F	CO変成器1温度センサ異常
85F	CO変成器2温度センサ異常
86F	CO除去器温度センサ異常
87F	蒸気発生器温度センサ異常
88F	電池冷却水出口温度センサ異常
89F	水処理装置温度センサ異常
90F	改質器バーナ点火失敗→原燃料供給系異常
91F	電池電圧低→原燃料供給系異常
92F	バーナ空気供給系異常
93F	電池電圧低→カソード空気供給系異常
94F	電池電圧低→CO除去空気供給系異常
95F	蒸気供給系異常
A0F	燃料供給圧低
A1F	改質系圧力高
A2F	改質器保圧異常
A4F	S/C低
A8F	外部停止信号入力
B0F	温水温度センサ異常
B1F	アノード入口温度センサ異常
B2F	CO変成器3温度センサ異常
B3F	改質器バーナ点火失敗→燃料改質装置ヒータ異常
B4F	ヒータ過熱系センサ異常→燃料改質装置ヒータ異常
B5F	ヒータ系過熱異常→燃料改質装置ヒータ異常
C0F	電池電圧低
C4F	電池電流低
C5F	電池電圧低時間超過
C6F	インバータ異常
E0F	商用電流検出異常
E9F	ヒータ系過熱異常→余剰電力ヒータ異常
F9F	逆潮流検出

※リモコンには、(18F) → 「点検 近」 (19F) → 「点検 要」の文字が表示されます。

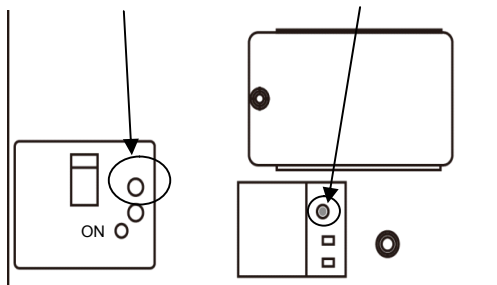
b) エラーコード 769（通信異常）が表示される：

燃料電池発電ユニットの左側面の半透明カバーを外から目視確認してください。本体ブレーカは ON になっていますか？

もし、ブレーカの漏電表示が出ていた場合、担当のメンテナンス店にご連絡してください。

主回路漏電ブレーカ
漏電時突出部
(漏電時：黄色の突出有)

凍結防止ヒータ漏電ブレーカ
漏電表示ランプ
(漏電時：赤色点灯)



● 異常時の処置

異常が回復しない場合は、次の処置を行ってください。

- ① お客様担当のメンテナンス店にご連絡してください。
- ② ガス漏れがないことをご確認し、異常があるときは元ガス栓を閉じてください。

地震等の災害時は、次の処置をお願いします。

- ① 給湯利用を中止してください。
- ② 暖房端末機の運転を中止してください。
- ③ リモコンの「不在停止」を3秒間押し、燃料電池発電ユニットを停止させてください。
- ④ ガス漏れがないことをご確認し、異常があるときはガス栓を閉じてお客様担当のメンテナンス店にご連絡してください。



注意

- お客様自身で部品の点検・調整はしないでください。

● 停電のときは

- ・ 燃料電池発電ユニットが運転中に停電した場合：
 - － 発電を停止し、燃料遮断弁を閉止し、自動的に安全な停止を行います。
- ・ 燃料電池発電ユニットが停止中に停電した場合：
 - － 燃料電池発電ユニットは起動しません。
- ・ 復電後の処置
 - 必ず貯湯ユニットの時計合わせを行ってください。
 - 貯湯ユニットの取扱説明書をご参照してください。

時計を合わせることで燃料電池発電ユニットが自動運転します。

貯湯ユニットの学習機能等により、すぐに運転（発電）しない場合がありますが故障ではありません。

● 緊急時など屋内の専用ブレーカや主幹ブレーカを切った場合

- ・ 再使用前に「ご使用前の確認と準備」を行ってください。
- ・ 貯湯ユニットの取扱説明書に従い、貯湯ユニットが使用状態（運転状態）であることをご確認ください。
- ・ 貯湯ユニットの時計合わせが行われていることをご確認ください。

● 仕様

◆ユーティリティ

項目		仕様	備考
電気	電圧	AC100V/200V	推奨配線仕様：VVF-φ2-3C
	定格電流	3.5A	
	相数	単相三線(パワーコンディショナは単相二線)	
	周波数	50Hzまたは60Hz	
燃料	種類	都市ガス13A	
	最大流量	5 L/min(都市ガス 13A)	
	供給圧力	1～3.5kPa	
	配管口径	R1/2(TU)	
ドレン	種類	純水(内部オーバーフロー水)	接続口径よりも細くしないこと 1/50 下り勾配
	温度	0～60℃	
	配管口径	1/2インチ管(φ12.7mm)	
接地		D種接地	

◆基本仕様

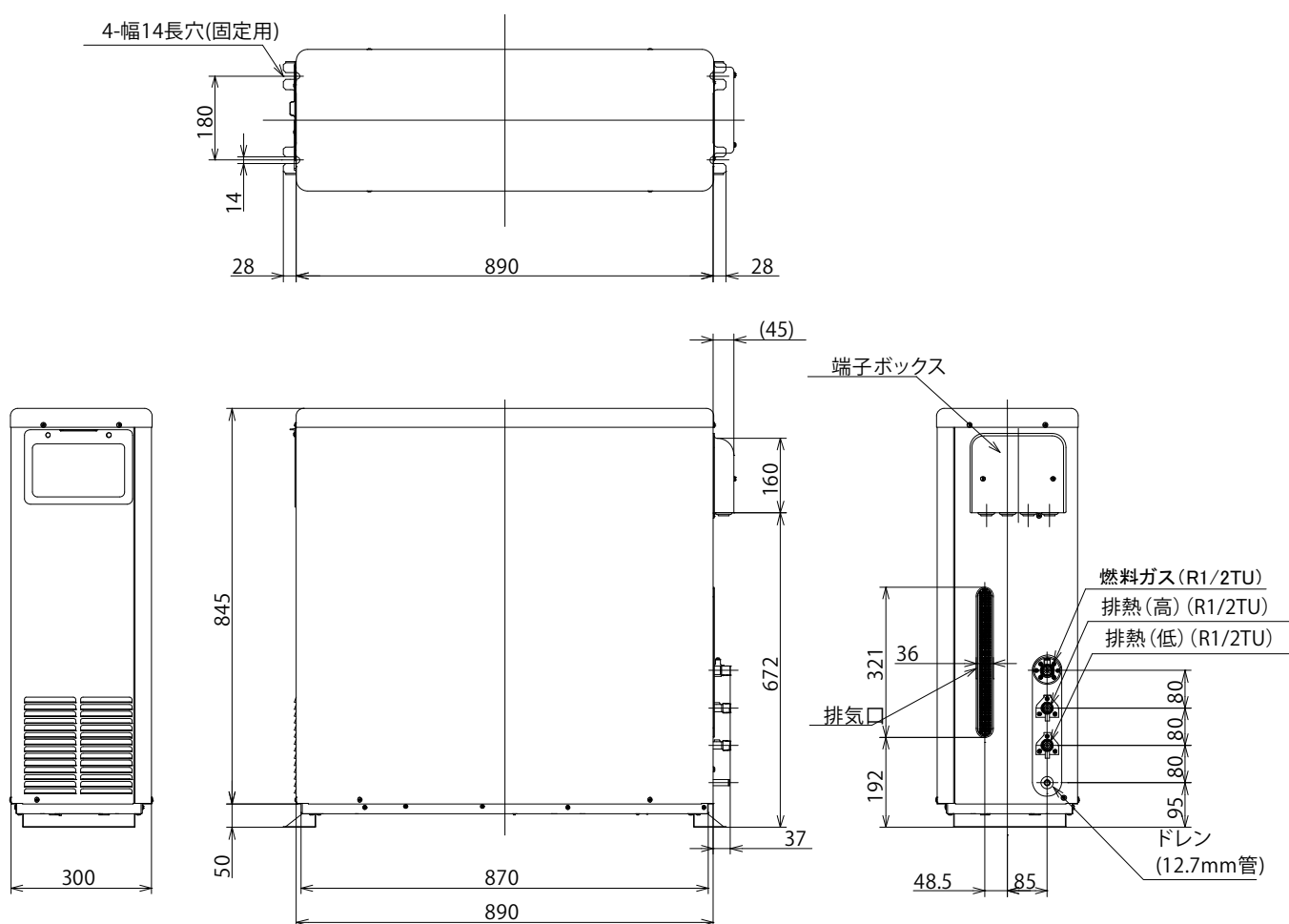
項目	仕様	備考
定格出力(W)	700	
最低出力(W)	250	
発電効率(%)	35	(定格)
総合効率(%)	85	(定格)
騒音dB(A)	40dB以下 注1)	無響室内、機側 1m 平均
起動時間	1 時間以内(発電まで)	
寸法(mm)	W890×H895×D300	高さは脚を含む
重量(kg)	104(乾燥重量)	
運転モード	DSS 注2)、連続運転ともに可	
系統電力との関係	系統連系	
出力設定方法	①インテリジェント通信経由出力指令追従(学習制御対応)	インテリジェント通信経由出力指令に従う(学習制御対応)
	②手動出力設定	
外部入力による停止		注3)

注1) 無響室内での測定によります。設置場所によっては反響のため、上記の値よりも大きくなる場合があります。

注2) 毎日起動・停止をする運転形態です。

注3) 別途お問い合わせください。

◆外形寸法



お困りのとき

お困りのとき

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は、お客様担当のメンテナンス店にご相談してください。

連絡先

ご使用中に異常が生じたときは、「◆故障・異常の見分けかたと処置」にしたがって調べていただき、なお異常があるときは、お使いになるのをやめ、お客様担当のメンテナンス店にご相談してください。

エラーコード表示位置
(異常が生じたときに表示されます)

MEMO

UM-FCQ09-015-b